

医療機器等仕様書

調達物品名 汎用超音波画像診断装置 1式
(その他付属品、搬入、据付、調整等を含む)

上記調達物品は以下の要件を満たすこと。

- 1 超音波診断装置本体は以下の要件を満たすこと。
 - 1.1 受信超音波信号より AI 技術を用い電気ノイズを除去し微細な組織や複雑な組織構造を明瞭に描出可能な技術を搭載していること。
 - 1.2 走査方式は電子コンベックス走査、電子リニア走査、電子セクタ走査が可能であること。
 - 1.3 同時に 4 本以上のプローブを接続し電子的に切り替えて使用可能であること。
 - 1.4 動作モードは B モード、M モード、D モード (PW、CW、HPRF-PW)、Color Flow モード、Power Flow モード、高精細 Power Flow モードが可能であること。
 - 1.5 心電図情報を取得し超音波画像と同期表示可能であること。
 - 1.6 開口合成及び周波数合成によるフルフォーカス機能を搭載していること。
 - 1.7 検査手順補助機能を有し予め登録した検査手順により診断距離、ボディマーク、計測等が検査に応じて自動追従可能であること。
 - 1.8 超音波造影剤を使用した造影超音波検査に対応可能であること。
 - 1.9 周波数空間に依らない固有空間信号分離法による低速血流表示機能を有すること。
 - 1.10 プローブの視野より広い拡張 B モード画像を表示可能な機能を有すること
 - 1.11 画像調整のパラメーターを 1 プリセットあたり 4 パターン以上登録し任意に切替えて検査可能な機能を有すること。
 - 1.12 頸動脈の長軸断層像に ROI を設定し IMT の最大値、最小値及び平均値を自動算出し表示可能な機能を有すること。また厚み分布をヒストグラム表示可能であること。
 - 1.13 任意方向 M モード機能を有し同時に 3 本以上のカーソルを設定し M モード表示可能であること。
 - 1.14 リアルタイム画像とスローモーション画像を並列表示可能な機能を有すること。
 - 1.15 任意に 2箇所にサンプルポイントを設置し異なる 2 点のドップラ波形をリアルタイムに取得可能な 2 方向ドップラ機能を有すること。

- 1.16 保存された B モード画像よりスペックルパターンを認識し、関心領域の位置、移動速度、移動距離を解析し局所心筋等の評価が可能であること。
- 1.17 心尖部四腔断面像、二腔断面像の判別、各々の心内膜を自動認識可能な機能を有し EF 及び Global Longitudinal Strain を画像フリーズ時に自動計測可能であること。
- 1.18 心電図波形と連動して、自動で ED,ES 画像を検出することが出来、ED/ES の 2 画面自動振り分け機能を有すること。
- 1.19 プッシュパルスによるせん断弾性波速度測定機能を有し組織硬度と超音波減衰の同時測定が可能であること。また計測に際し VS 計測値の信頼度を % 表示可能な機能を有すること。
- 1.20 組織弾性イメージング機能を有し、取得データより Strain Histogram 表示可能であること。
- 1.21 組織弾性イメージングとせん断弾性波速度を同部位にて同時測定する機能を有すること。
- 1.22 観測用モニタは液晶ディスプレイ採用し、対角 23 インチ以上で、チルト、左右旋回方向に位置調整可能であること。
- 1.23 装置外観サイズは幅 550mm 以内、奥行 900mm 以内であること。
- 1.24 DICOM3.0 に準拠したデジタル信号出力機能を有すること。
- 1.25 当院、既存のパックスシステム(ストレージ)への接続費用を含むこと。
- 1.26 ゼリーウォーマーが搭載されていること。
- 1.27 プローブ装着にあたりケーブルフックを装置に有すること。
- 1.28 日本語版取扱説明書を装置上で閲覧可能であること。

2 電子コンベックスプローブは以下の要件を満たすこと。

- 2.1 周波数は 5-1MHz であること。
- 2.2 視野角が 70deg. であること。
- 2.3 CW ドップラに対応していること。
- 2.4 ワイドスキャニング機能を有しワイドスキャニング時の視野角は 150 度であること。

3 電子リニアプローブは以下の要件を満たすこと。

- 3.1 周波数は 12-2MHz であること。
- 3.2 視野幅は 38mm であること。
- 3.3 CW ドップラに対応していること。

4 電子セクタプローブは以下の要件を満たすこと。

4.1 周波数を 5-1MHz であること。

4.2 視野角が 90deg.であること。

4.3 CWトーラに対応していること。

5 白黒ビデオプリンタは以下の要件を満たすこと。

5.1 感熱記録方式で 256 階調以上の鮮明なプリントが可能であること。

5.2 診断装置との接続は USB 接続であること。